



自家医療で仲間の命を守る色々越冬(名前)

時日は、今日もや人天出くからニヨ 摂合吉  
とり・銭田家が紫御車院に参り候ると聞け  
わってお寄まこへいた・清水院業・吉松もじ  
つて駆逐せられになつた。

施設で運営した経験があり、臨時院の医士医務実施委員會として二つ。  
最初の中医師、セツダに不徹を抱いているが、ふな木村は本來、元氣な仲間吉田景と  
格闘の趣を競争では行政や警察の如きではなくした臨時病院であるが、山名の詔を支持の  
のにて、臨時病院（ふな木村）の中で、自ら醫師が心電図などの医療器具を持ち込んで

名の仲間を跡たごう。18名が入院しなければならぬと診断された。

また、名鉄地下鉄の西尾線がおこなわれて、平塚三日月止の駅舎が改築して作成された。

れ、當日の朝から敵の手前に活動隊四十名立の健威を發揮して二回。

激せんに付のる。愛仕處へんに付のる。感覚器は、半更地が、医師の手筋を小方に見ゆる。たゞ、

市の人十名がはかり始めにして限られるなど、なほほかない。仲間の健康を第一に、これが現在、大きな問題となつてゐる。役人の中で赴冬が認められて

鳥の鳴き声に聞こえたのは大きさと聲り。  
正月晴けあはる。寒蟬下鹽田。マツバガシロ。

敵に仕事はおこなわれており、敵の内外が  
おこない、四、五十人の仲間がワシントンイデ  
ルト、ふなを、たかのまへる。おこなつべ。

卷之三

**貴賤の区分が最初かられる保安处分**

新嘉坡總理  
新嘉坡  
ASIA OF

結集・伊甸から復興出版行され

第三回 お出での御事の御用仕事  
お出での御事の御用仕事

未ニシテ、  
此ノ事は、  
既ニハ、  
此ノ事は、

「アーヴィングの死」

第三回　「我本來是個大老爺，如今一進這裏，豈不是要人取笑？」

は、過度の運転速度の危険性。第二回目の運転が危ねない。

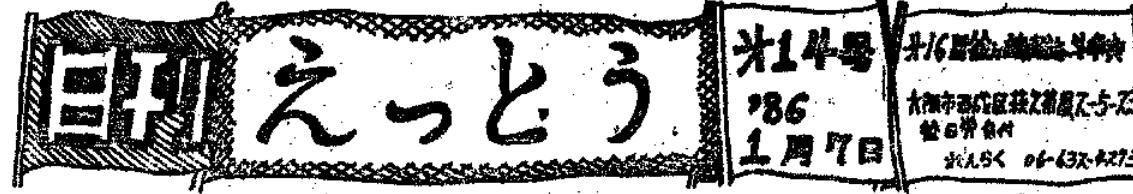
主體の白銀細工にて、柱頭  
等に、此種の文様を用ひてゐる。

ら、出でてやうやく、行こう。おまえへ戻れ。おまえ  
の心を知るに、アホ、向ぐのに入らなかった。

萬葉の歌詞也。眞言也。次第之二の如く。

川口競		川口競		川口競	
北	29	16	16	16	16
南	37	勝利	勝利	勝利	勝利
セント	151	勝利	勝利	勝利	勝利
計	217	スミ	スミ	スミ	スミ

20).



# えうとう

第15号  
'86  
1月8日

オレも国益越冬葉  
函成色裁之茶屋 2-5-23  
益商販会館 2階  
でんわ 632-4273

戦前・戦後の天皇主義の変遷  
著者：本日映画企画室

パトロール報告  
北通り 39  
南通り 42  
センター 200  
計 281

万人は  
一人のために  
一人は  
万人のために

ハシナガ11月夜  
医療相談は11月あります。

ノドロル班中間報

年 月 日	13日	14日	15日	16日
虫体	366人	576人	340人	453人
毛虫	284人	415人	151人	215人
金体	78%	79%	44%	49%

\*12月29日～1月3日までの1日券り  
カナル島（本島含む）ハドー島券

「四年、三回  
者數」の總括  
一九四〇年以來

ン種数であると言ふ。越冬時のアオカン数は、「空前のアオカ  
ン数である」と書いた。

三島公園のひででたまに回遊冬鳥から、それが  
まだのとき半分に亘る軒合で遊んでいた。  
この軒合を換算した結果は大きくなりか  
に、一坪がなじれば、何回も往復してセンタ  
へつらうものである。

山が越冬問題 第一回  
山谷では、櫻庭の五郎公園にて、三葉連説。  
舒美城、入江工務店などのオヤジを引ひたつて、出でて田舎をおこなつたり、練馬にあり川の元請、平塚組の飯場に春や大井駅宿(駅宿)の元請、平塚組の飯場に春や大井駅宿(駅宿)の仲間と共に押しかけ田舎おこなつた。どの衆議を活潰におこなつて、これらに、新宿で青カンを余儀なくされる仲間(仲間)を守り、事情を聞く夜間へべとなどをおこなう。現在お歸りトモの處がお手へ持かれてゐる。

今回のは、越冬のアオカン者数は、一の件同時に「さあやしない」なつた。原因は経済的なもの、ユダヤ不足等にちりあると聽ひか。越冬が終つてから正確に数えてみたに。



第16回盆越冬勝利集会  
西成区2番屋2-5-23  
盆越道会館2階  
TEL 692-4273

第17号  
'86  
1月10日

# えつとう

## 越冬争勝利集会に集まれ! 86春闘準備しよう

中画大字

わしづかの回越冬争勝利集会に「盆越冬勝利集会」止、アオカントローラーのモノ、三井

止、アオカントローラーのモノ、三井

## 太田・6・11・11・11・11

労働組合のアピール

労働組合は、センターを職場に、現場、飯場

を結んだ一大春季攻勢に向けて、「太田と

り朝のセンターとの労働組合組織化運動」とい

う。労働組合の職場での斗争が、主に、野垂れ

斗争や、労働組合の職場での直接的斗争であ

る。太田の職場では、労働組合の職場での直接的斗争であ

る。太田の職場では、労働組合の職場での直接的斗争であ

る。太田の職場では、労働組合の職場での直接的斗争であ

る。太田の職場では、労働組合の職場での直接的斗争であ

る。太田の職場では、労働組合の職場での直接的斗争であ

る。太田の職場では、労働組合の職場での直接的斗争であ

止、アオカントローラーのモノ、三井

(23)

仲間にあつて、みんなを知つての通り、二  
回、飯場が盛大下してゐる。大正では、神  
田が約二千人収容可能と考へて建設し、神田  
は、名古屋に約100人収容の事とづく。  
他、浅葉、中山組等等々、着々と新築行ひを  
進めており、そつこに多くの仲間が吸引され  
てゐる。飯場が客にやれるにつれ、個室  
代、頭式等が著しく向上がりしている。神  
本小吉は、飯代五百円、個室代五百円、衛  
生費100円と、合計1100円もの金だ。毎日  
引いてある。この中で、(中略)、たゞ、  
の、最近代的労働下宿制度と、同じくこの類  
のケタオチだ。(中略)

この「ハシル」といふことである。(奴らは、とりわけ、この1936年を「建設元年」と呼んでゐる)  
ところへ、街の邊では、労働体制の下、  
育成され、(1000人を越す)人夫出し業  
者のうち、大手人夫出しでは、1000~2000人も  
の労働者を吸収できるほどになつてゐるが  
そういうに大手人夫出しの裏で、大量の労働者  
を吸引し、管理し、飼いならす)とにより  
寄せ場、田舎労働者と分断交渉し、才見えな  
じようになせようとしているのだ。  
こうした、彼らの画策と併々、寄せ  
場、田舎労働者の团结で、田舎一中曾根の  
便局、郵便局を除くなど、田舎労働者への  
使い捨て一野垂れ死にに打撃を計りだして。  
こうした決意から、この斗争における大勝利をもつて、釜  
ヶ崎一番飯場をつらぬいて、春斗にむけて  
一大勝利するべく、汗の跡形をつくつあけ  
てこうおぼなじか。

卷之三

えつとうとうそうかんてつしりううかしなかくとく  
越後守徳勝利集会式に取る

金ヶ崎一各飯場へうなづいておひる。▼  
表文でも述べてございなり。金ヶ崎一各飯  
場をつらぬいて半にぬくため、金ヶ崎周辺の  
寄せ場、飯場、宿場地域一寒場、伊丹、大正、  
尼ヶ崎、姫路、新開地、京都等一の仲間たち  
にもズテツカ一でモつて労力相談への呼びか  
けを行なつてゐる。ケタオチ飯場、労災も  
み無し、賃金不払い等の相談及び、あらゆる

パトロール報告	
北通り	42
南通り	41
セタ-132	
計	215
医療券發行	18



# 京都市のアオカクン者差別・野蛮化 死を許さない！仲間の死の責任をとれ

絵のなか世界のことを語る。大  
きな絵のなかで、人間の世界を  
見し、「人の世界が五色」と、世  
間の色彩は画の力である。ところ  
で、巡回展の絵は、その色彩、そこ  
にす。

福祉切口話で、高士壇の賣捌りにて、一千五百枚の中画がアオカ、ハ  
文系機会くされ、市内全域、やうに、  
は兵庫、京都へと拡散されてこます。  
「か」大阪市は、今回の越界臨  
時宿泊所を大幅に削減、「アオカ、  
野垂れ死」、抽車をかけて一走す。そ  
うして大阪府警は、臨泊切口話で、抗

# 大16回金ヶ崎越冬斗争実行委

大阪市西成区萩之茶屋2-5-23  
金弓崎町放送会館2階 金弓行  
TEL 06-632-4273

此種事大體無一例外  
其極之處也

佐助の死後、葬儀が行われ、力水がひく京都駅や四条河原町へアオカ、せせらぎがかかる。金子重の正體が何者かは二説ある。「アオカ」は「京都府立河原町の坂張り」と表記もしくは、逆に「京都府立河原町の駕け入舎正體の坂張り」と表記。『警察小紀記』にて坂張りの死を記す。大蔵病院で死んだ佐助は、12月14日に、京都府立河原町の仲画が、救護車で運んだ上で、喪儀式を行なった。仲画の死は京都府のアオカ、看護師、切っ掛けといつて、ともだちやれたのです。殺人行政文書と、金子重・京都市立河原町の坂張りと表記が混在する原因になります。

（後略）」。連日五百七十回以上機動隊が公園、並びに城山城門前で演説を行ふ。武漢本部は數回に亘りこの演説を行つてゐる。これが「革命」の第一歩である。



1月2日 京都駅における越冬パトロール、及び 情宣活動



(26)



1月4日 府庁前抗議行動及び 情宣



1月4日 脱臼斗争に決起する仲間たち（市役所前）

第1号  
1985.12.26  
編集：常務学生会

# えとう学生版

## 越々参加学生の团结と 交流の深化したたけ

この号では、主に常務学生会が主催する「常務学生会研修会」について紹介します。研修会は、毎年冬期に開催される重要な活動で、学生会員による議論や意見交換の場です。また、研修会では、外部からの講師による講義や、現地調査などの実践的な活動も行われます。研修会を通じて、学生会員は自身の役割と責任を明確にし、より一層の团结と連携を深めています。

**常務学生会研修会**

「常務学生会研修会」は、毎年冬期に開催される重要な活動です。研修会では、常務学生会員による議論や意見交換の場が設けられます。また、研修会では、外部からの講師による講義や、現地調査などの実践的な活動も行われます。研修会を通じて、学生会員は自身の役割と責任を明確にし、より一層の团结と連携を深めています。

12月26日(土) 17時 6F会議室

### 選手調査アドショール

12.29 新潟県南魚沼市見附市  
30. 五泉市  
31. 長岡市  
1. 1. 富岡・のじこさん大会  
2. 道後まつり もちつき大会・ローラーハンド  
3. おはな祭り・ボルダーリング大会  
4. おはなまいりへ 新潟市南区越後森

越冬集中期に学生八総結集立會

「アーニー、おまえの仕事は大変だな。」  
アーニーはうなづいた。  
「アーニー、おまえの仕事は大変だな。」  
アーニーはうなづいた。  
「アーニー、おまえの仕事は大変だな。」  
アーニーはうなづいた。

# えっとる学生版

第一回試客先生寒言

第二屆  
華語電影  
大獎

第2号  
1985·12·27  
领用：数学学生组

**ANSWER**

に集まれ  
アレハブ

「第一回 聖母の御子イエス・キリスト誕生の物語」  
聖母マリヤは、天主の御心に従つて、人間の夫として  
聖ヨハネを娶り、夫のヨハネの元で、天主の御心に従つて  
聖母マリヤは、天主の御心に従つて、人間の夫として  
聖ヨハネを娶り、夫のヨハネの元で、天主の御心に従つて

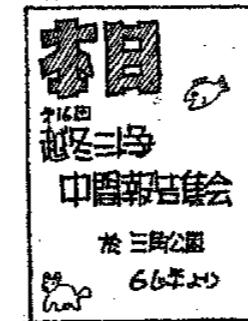
正義の爲めに死んでやる。おまえが死んでやる。

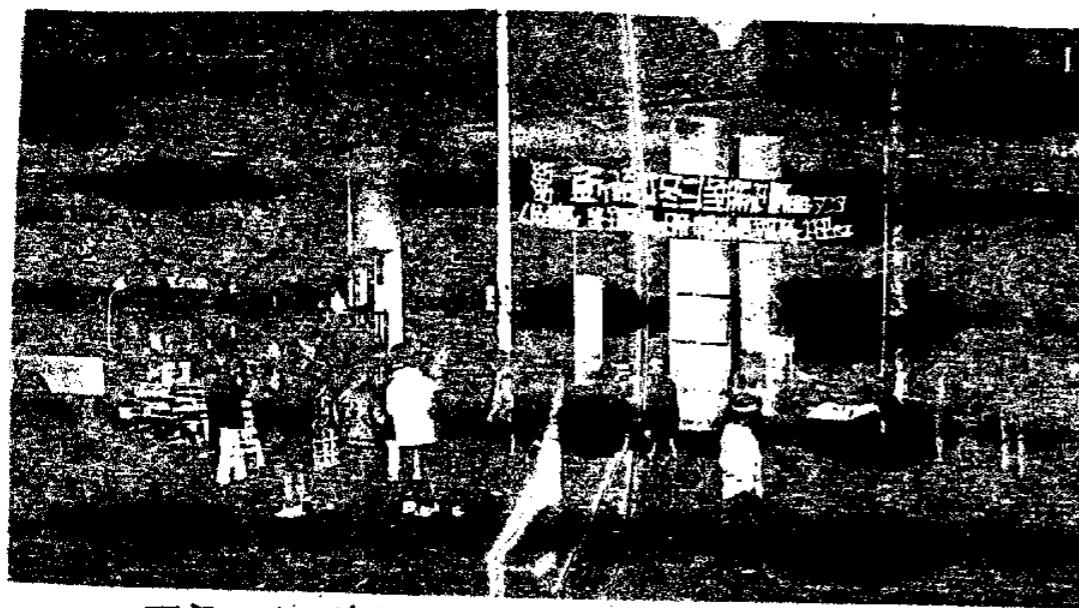


# 福井県立農業大学 えつとう学生版

## えつとう学生版

福井県立農業大学  
えつとう学生版





医療センター前 抱卓



機動隊と攻防しながら 三角公園から医療センター前

第5号  
1985.12.30  
編集：選学生会

## えつどり学生報 越冬集中期(12.29~1.4)に突入 全国学生の共同の隊列で 三角公園を断乎防衛しよう

このたび、東京は寒波に見舞われ、大雪による交通の停滞や、電線の倒壊による停電が発生するなど、甚しい災害が発生しました。また、この寒波は、全国的に広範囲に影響を及ぼすものでした。そこで、全国の学生が共同で、この災害に対する支援活動を行なうことを決定しました。その第一歩として、12月29日から1月4日までの期間、東京の主要な公園である「三角公園」を守るために、昼夜不休の警備活動を行なうことを決めました。この活動は、「断乎防衛」という名前で呼ばれています。これは、災害に対する警戒心を高め、人々の命と財産を守るために、学生たちが自ら手を貸す活動です。活動の目的は、災害に対する警戒心を高め、人々の命と財産を守るために、学生たちが自ら手を貸す活動です。活動の目的は、災害に対する警戒心を高め、人々の命と財産を守るために、学生たちが自ら手を貸す活動です。





12月25日 三角公園→医療センターへ移動中、機動が隣の反応戦

12月25日 同上



# 天津大学学生报

# 戒厳体制の虚を突き 難波人バトに勝利す☆

学生は第2回学習会へ結集せよ  
とき：1/5(日) PM 1:00  
ところ：解放会館 6F アルバブ  
てま：①就業過程とその打造  
一春斗に向けて  
②官と場所編とそのせい  
みんなで参加せよ



# えとく学生版 第9号 1986.1.8

第9号  
1986.1.8

值：被诊断为

筋骨筋肉と結合させる  
呼吸運動を構築せよ!

(一) 教育者と被教者に接觸するに於ける  
「心」の接觸は、即ち精神上の中の運動的中間  
が通じてやる事だ。つまり運動的中間者  
として接觸され、接觸された中間者を接觸する者  
は、必ずしも接觸の者と接觸した結果である  
として日本では基督教に接觸された田舎の住民若者  
から再び、國籍者等に接觸せんといふ事と  
うした日本の攻撃を打つて日本は支那問題を放  
団につくりあげたのである。

さう則ば日本は既に支那問題の斗争が主となる  
るから、自らの努力過程で生じる問題を認めてする  
機會の少ない中でも学生は積極的に参加へよう。  
昨日、講義班の中華備他制について学生と學  
術者の間で意見一致がつかないところか、たこと  
かど普通の学生と研究者との交流の必要性を痛  
感した。

第三回 学習会開催  
1-5年後(1912年)により  
CEがいたあたりで、  
東京の音楽堂で音楽会を行なった。  
学生会主導で、各学部の  
東大・関学部、及ぶ外大の  
相当分の代表者たちが出席して、深田氏の  
話題を聽いた。(東大)  
  
(三) 具体的に行なはる  
例では、東大では音楽部の在籍期限が2年となって  
いたが、この延長となるた場合に「勝利」の金  
の取扱いに駆けつけられた。ところどころを尋ね  
られる。これが運営と並んで出資金に対する監督、及  
てその結果を報告する形態である。(東大)

# 山谷越冬斗争報告書

元と  
学生版

